

令和元年度

特色ある公民館事業訪問

ミニ四駆組立講座

訪問日：令和2年2月24日（祝・日）

場 所：国見町 観月台文化センター ホール

内 容：フリー走行を通して、ミニ四駆を走らせる楽しさを体験する。



開催前のホールには軽快なBGMが流れ、大きなサーキットコース、修理作業台などが設置されています。集まった参加者の様子を見ると、速く走らせたいとコースをのぞき込む子、お父さんと一緒にミニ四駆のチューンナップに励む子、友達のかわいいモデルを「見せて見せて！」とせかむ子、まるで本物のサーキット場のような熱気です。

株式会社タミヤの協力を得、公式のサーキットコースを借りることで、主催者側の「本物のコースで、本物のレースを体験してほしい」という思いを実現することができました。

前回の講座（ミニ四駆作成）に参加していなくても、飛び入り参加OKと言うことで、小学生はもちろん、下は幼稚園児、上は成人の方まで、様々な世代から色とりどりのミニ四駆全20台がエントリーしました。

家族での参加が多く、親子、きょうだいで挑むタイムレースは真剣そのもの。「トライ&エラー」を繰り返しながらより良い走りを追求する、「本気で遊ぶ」姿が数多く見られました。

参加者より

- 男子児童（一年生）
お父さんはミニ四駆名人です。一緒に組み立てていて、分からないところを手伝ってくれました。とてもかわいいお父さんです。
- 父親
子どもが学校からチラシをもらってきたことが参加のきっかけになりました。私自身小さい頃ミニ四駆にはまっていたので、私から声をかけました。家でもミニ四駆を話題に、楽しく親子のコミュニケーションを取っています。

担当者より

この事業は40年も前から子ども達に親しまれてきたミニ四駆にスポットライトを当て、組立や改良を通して「ものづくり」の魅力を学んでほしいと思い開催しました。
普段親子参加型の事業を開催するとお母さんの参加がとても多いのですが、今回は想定以上に父さんの参加が多くて驚きました。
この活動が家庭における楽しい会話のきっかけになってもらえればうれしいです。



館長さんは、「町民は、公民館にとって、お客でも受益者でもなく、自治の主体であること」という社会教育の理念を大切にいらっしゃいます。「事業に集った皆さんがこの国見町の主体として生き生きとした暮らしを築いてほしい」と語る館長さんや担当の方々の熱く輝く瞳も印象に残る公民館訪問となりました。